
運命の人

真知

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命の人

【NZコード】

N1963D

【作者名】

真知

【あらすじ】

散文詩人生の中では、人は3人の運命の人と出会うという。あなたにとつての愛とは？

(前書き)

分類は『自叙詩』です。

大股で、ある一定の距離を保ち、決してその間隔を縮めさせない。だけどたまに止まって振り返っては、少年のように微笑んでくる。その一瞬の隙を狙つて、走つて追いかけてみても、伸ばした手は空を掴むだけで、またズンズン先を行つてしまつ。

10センチのヒールでは足りないほど、一生懸命伸びして、おぼつかない足取りで後を追う。

死ぬほど大好きなのに、ちょっと触れ合つただけで、消えていった男。

16才の夏

同じ歩幅で、同じスピードで、同じ景色を見て、同じ気持ちを共有する。

たまに少し先を歩いてゆくが、たまに寄り添い、肩を並べる。

ハイヒールを履いて背伸びする必要もない。

スニーカーを履いた足でゆっくり大地を噛み締めて歩ける。つまづいたつて、笑つて待つてくれる。

安定と幸せを提供してくれ、適度に追いかけさせてくれる男。

18才の夏

一步一步、確かめながら、足並みを揃えようとする。大股で、小走りで、我が道を進む足跡を、不確かな足元を探るよう、おぼつかない足取りで、少し遅れて歩いてくる。

乗り物に乗つて、どんどん先を行こうとも、懸命に、自分の足で追つてくる。

愛する分より愛してくれた、その想いに耐えきれなくなつて捨てた男。

21才の夏

人生には3人の運命の男がいるという。必死で追いかけなければならない人、追いかけてくれる人、足並みを揃えられる人……

あなたはどれを選びますか。

わたしは

愛されるより愛したい

でも

愛する分だけ愛されたい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1963d/>

運命の人

2010年10月11日00時23分発行